



新型コロナウイルス感染拡大による不安が、日々広がっています。テレビや新聞でもこの話題ばかりで、一人で気持ちが落ち込んでいる方、得体の知れない焦燥感にさいなまれている方などがおられるのではないかと心配しています。

「つらい時は、誰かと一緒にいたい。しかし人に会うことができないというところが、新型コロナウイルスの本当につらいところだ」と、ある新聞記事に書かれていました。

真光寺はいま、満開の桜に包まれています(3月末時点)。法要の中止や法事のキャンセルなどで、住職もどことなく落ち着かない日々を過ごしている時、撮影した一枚の写真。「私の命は、こんなにも美しい自然に生かされているんだ」と、改めて気づかされた瞬間でした。



こうした状況だからこそ、「自分を見つめなおす時間を作る」「身の回りの景色をゆっくりと眺めてみる」「家族との会話を大事にする・電話をする・メールのやり取りをする・手紙を書いてみる」「お経を声に出して味わってみる」……時々にはニュースをシャットアウトして、普段は見過ごしがちなことに目を向けてみる大切ではないでしょうか。

そんな時、必ず一緒にいてくださるのが阿弥陀さまであり、親鸞聖人であり、お浄土から見守ってくださる親しい方々であることを、どうか忘れないでください。

一人居て 喜ばは 二人と思ふべし 二人居て 喜ばは 三人と思ふべし

その一人は親鸞なり

